第２２回市民自治推進委員会　産業躍動部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年　７月　５日（金）１８時００分～ |
| 開催場所 | アーニス２階会議室 |
| 出席者 | （部 会 長）川田　弘教（副部会長）吉田　武史（部 会 員）鈴木　高士、近井　一夫、宮下　裕次、安達　陽子（アドバイザー）荒川　昌伸（庁内委員）森元　俊明、大澤　玲裕（事 務 局）大越　智輝、塚崎　翔太 |
| 欠席者 | （部 会 員）小川　昌宏 |
| 議題 | 地場産品を活用した料理教室、未活用資源の観光商品化について |

【地場産品を活用した料理教室について】

・北海道産の牛乳（一部を除く）を使用することでホクレンの「牛乳・乳製品消費拡大事業」の補助を受けられることとなった。条件となる最低参加人数は３０名、実質使えるお金は３万円。

・そのほか使えるお金は参加者から徴収する１人あたり７００円と、市の予算の１万円。１万円についてはこの事業の収支には入れられないので、事業の枠外の料理１品に使うこととなる。

・今回の料理教室ではのぼりべつ牛乳のＰＲを行うこととする。ただ、ホクレンの条件により、ホクレン事業の枠内でのぼりべつ牛乳を使うことはできないので、市の予算で作る１品の中でのみ使用する。

・登庖会には牛乳を使わなければいけない旨了解をいただいている。日程については現在検討中。

【未活用資源の観光商品化について】

（コースのテーマや内容について出た意見）

・川に机、椅子を持ち込み足を水につけながらリバーランチ

・登別蕎麦道場でのそば打ちを体験（最近外国人観光客も体験できるようにしたところ、ゲートウェイセンターから良い評価をいただいた）

・漁船で海岸の景色を見ながらの釣り体験（時期などについて要検討、収容人数は１４人程度）

・歩きやすさを考え、登別駅を中心としたコースとする

・ウオーキングにとらわれず、レンタカー等の利用も可能性として考える

（その他の意見）

・市内で民泊を営む方が釣り堀ツアーや着物体験ツアーを実際に提供している。

・全市観光は、最近の流れとなっている個人による各種体験メニューの提供により自然に広まっていくと思われる。市内の各種団体やサークルが提供者となれば体験メニューも充実し、新たな交流も生まれる。

・体験メニューを提供することのできる方とその方の思い、ツアーを紹介する図鑑または動画を作ってはどうか。

（今後の方針）

・登別地区（登別の玄関口である駅や漁港、アイヌ語地名があり情報発信施設も建設予定となっているためツアーを作りやすい、外国人など車を使えない観光客が訪れる）に特化して、食事や体験を含むコースを作る。

・荒川氏が中登別町で民泊を営む方へ会議への出席を打診する。

【次回について】

・次回までに、各自登別駅を基点にしたツアーについてアイデアを出して来ていただく。

●未活用資源の観光商品化について、地場産品を活用した料理教室について

日程：８月１日（木）１８：００